



Wellbeing-Based Policy Design (WBPD)

OASIS研修 成果発表

所属組織名：加古川市3班



SDGs 未来都市
KAKOGAWA

加古川市では、
志方町、平井町、八幡町で、
田園まちづくりが
策定された
移住定住を
します。

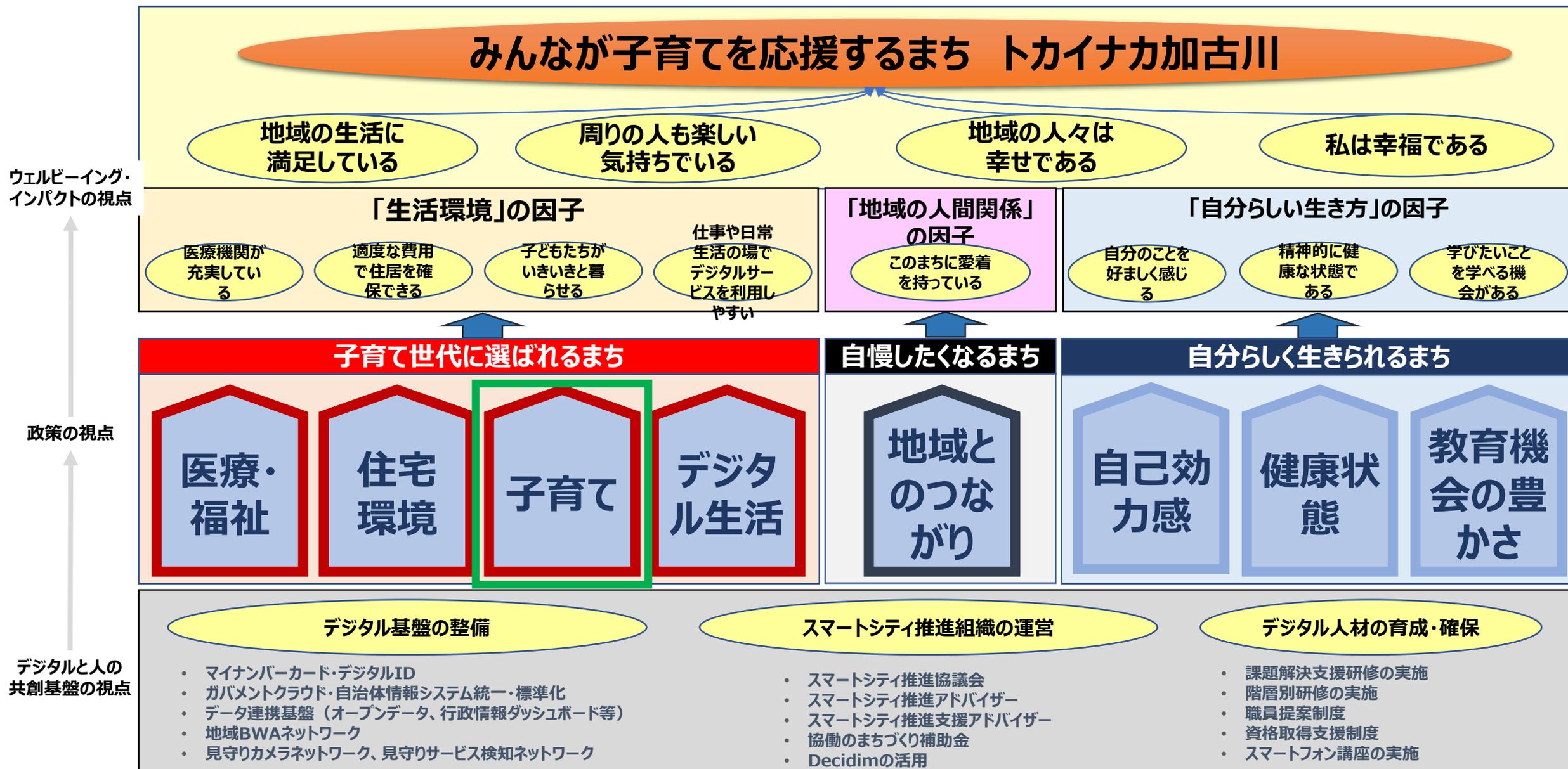
のびのび
楽しい♪

遊ぶところ
いっぱい!

通勤にも便利!

For Discussion Purpose Only

市が実践すべきウェルビーイング政策の全体を整理した「統合マップ」



市が実践すべきウェルビーイング政策の全体構造の説明

みんなが子育てを応援するまち トカイナカ加古川



まちと豊かな自然が近い加古川で、助け合いの輪の中で誰もが自由に学べる場や機会を確保でき、地域とのつながりを実感できることで、まちへの愛着を醸成し、健やかに笑顔で過ごせ活気のある魅力的なまちづくりを進め、移住してでも住みたくなる子育て世帯に優しい「子育てするなら加古川市」と思えるまちを目指す

「生活環境」
子育て世代に選ばれるまち



家族全体が安心して生活し、未来を担う子どもたちが健康に育ち、のびのびと成長できる地域づくり

「地域の人間関係」
自慢したくなるまち



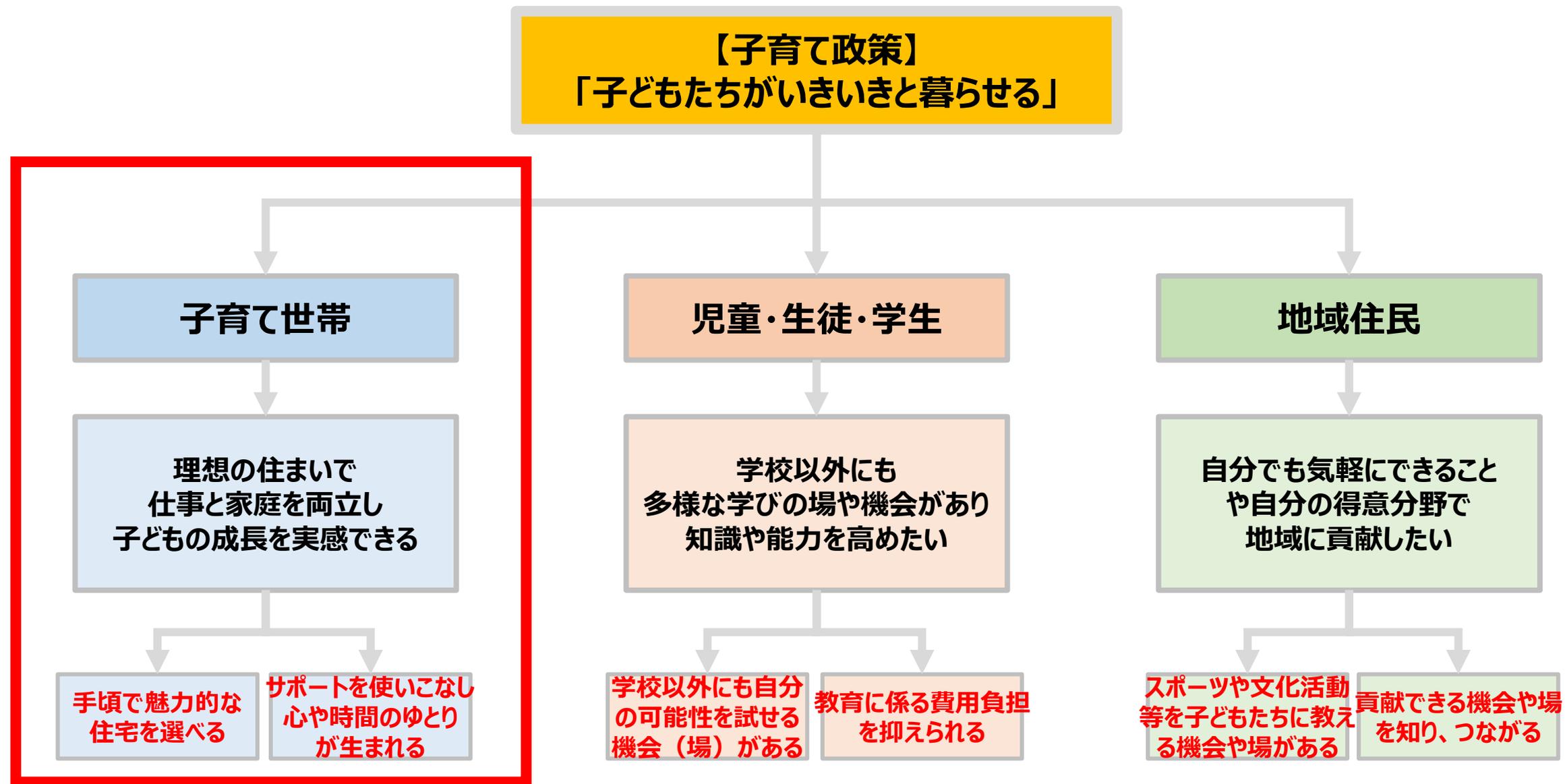
チャレンジが称賛され、周りの応援も感じられる、人とのつながりを実感し、住み続けたくなる地域づくり

「自分らしい生き方」
自分らしく生きられるまち



自分の興味関心があることを学ぶ機会があり、やりたいことができる時間と環境がある地域づくり

インパクトを最大化政策に関するペルソナ・ロジックツリーを選択する



【子育て政策】子どもたちがいきいきと暮らせる 【ペルソナ】 移住者として新しい土地に暮らす子育て世帯

現 状	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの成長に伴い、住み替えの必要が出ている。 • 仕事と子育てが忙しく、心と時間に余裕がない。 • 困り事を解決するのに、気軽に相談できる人・場所がない。 • 何かと子育てには費用がかかる。 	将 来 像	<ul style="list-style-type: none"> • 理想の住まいを手に入れる。 • ワークライフバランスを実現し、自己実現ができる。 • 身近に相談できる人や窓口がある。(オフライン/オンライン) • 子どもたちに学校以外にも学びの機会(場)の選択肢が多い。
----------------	---	----------------------	--



今後、市が導入すべき「ウェルビーイング指標システム」

【属性データ】

- 性別
- 年齢
- 居住地区
- 居住年数
- 転入前住所
- 住宅所有形態
- 家族構成
- 子どもの年齢
- 職業
- 勤務地
- 世帯収入

【ウェルビーイングデータ】

- 主観データ
 - ・ 地域幸福度全国調査
 - ・ 市民意識調査
 - ・ インタビュー/コメント
 - ・ 各種アンケート等
 - ・ 全国学力・学習状況調査（質問紙）
- 客観データ
 - ・ RESAS
 - ・ e-Stat
 - ・ 市統計書
 - ・ 市オープンデータ
 - ・ 地方財政状況調査
 - ・ 学校基本調査
 - ・ 全国学力・学習状況調査

【分析枠組み・指標】

- 階層型＋並列型
 - ・ □ジックツリー
 - ・ □ジックモデル
 - ・ 相関分析
 - ・ 回帰分析
 - ・ レーダーチャート
 - ・ 散布図
 - ・ GIS
 - ・ 重要度×満足度…

【分析結果】

- 自治体全体
 - ・ 幸福度
 - ・ 生活満足度
- セグメント・ペルソナ別
 - ・ 幸福度
 - ・ 生活満足度

X

X

⇒

市が導入すべき「ウェルビーイング指標活用プロセス」

【市民参加】

- ワークショップ(官民/市民)
- Decidim
- 熟議×市民会議
- オープンミーティング
- 地区別行政懇談会
- フォーラム
- 学校園運営協議会
- パブリックコメント
- 市長への手紙
- 市民アンケート

X

【人材育成】

- 庁内研修
 - ・階層別
 - ・幹部職員向け
 - ・教職員
- 広域自治体職員研修
- 職員向けセミナー
- 市民向けセミナー
- 企業向けセミナー
- 出前講座
- 官民研究会・勉強会

X

【報告・モニタリング】

- 各種審議会
- 戦略会議
- 実施計画
- 行政評価、事業評価委員会
- 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価
- スコアカード
- 広報かこがわ
- 市ホームページ
- 地域幸福度調査

市独自の質問項目や客観指標として追加すべきもの（セカンドレイヤー）

【市独自の質問項目として追加すべきもの】

- 私の暮らしている地域では、先進的な教育環境が整っている
- 私の暮らしている地域では、地域と学校が協力して自慢できる行事や取組をしている
- 地域の教育水準は高く、教育の選択肢が多い
- 私の暮らしている地域では、様々な状況に対応できる学びの多様化が進んでいる
- 私の暮らしている地域には、休日子どもと過ごせる施設や場所がある
- 子育て支援施設へのアクセスが良い
- 子育て支援施設の規模が適切である

【市独自の客観指標として追加すべきもの】

- 児童生徒一人あたり端末を利用した時間数
- 全国学力学習状況調査結果
- 子どもあたり公共施設面積
- スポーツ活動の行動率
- 文化芸術活動の行動率
- ボランティア活動の行動率